

監事監査報告書

令和7年4月22日

認定特定非営利活動法人 自然再生センター

理事長 松本 一郎殿

監事 澤 アツ子 

佐草 利博 

私たちは、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿及び関係書類に閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、報告書を確認し、また理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 活動（収支）計算書 貸借対照表 財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、契約書も含め法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。

(2) 事業計画に沿って、業務が執行されており、事業報告書の内容は事実であると認める。

(3) 理事会は定期的開催されており、理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(4) 組織のミッションである多様な事業の情報収集を行い、企業、行政、住民、専門家とのSDGsを実践する事業の新規展開の可能性を引き続き探ることを求める。

(5) 地域の住民とともに、教育現場との連携に努め、次世代への環境教育継続的に展開することを期待する。

(6) 中海自然再生協議会（法定協議会）において、第三期計画がスタートし実施者として、また事務局として環境大臣功労賞を受け本法人の自然再生に関するこれらの活動は評価すべきものであり、今後のさらなる事業展開が期待される。

(7) 中長期的な視点から今年度は、現金、預貯金を有効に活用しながら、ガバナンス、コンプライアンスを強めさらなる自然再生事業展開を期待する。